

# 八王子市

【児童・生徒数】  
39,757名

【学校数】  
107校

## 【八王子市の特色】

- ・緑豊かな丘陵地帯に囲まれており、四季折々の美しい自然に恵まれた環境である。
- ・近隣の小・中学校が小中一貫教育を推進するグループ校として各校の実態に応じた様々な取組を実践している。



## 【課題・改善】

- ・1日30分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合がおよそ7割から8割となったが、運動やスポーツをほとんど毎日または、ときどきしている児童・生徒の割合は変化が見られなかった。
- ※拠点校における児童・生徒の運動習慣及び意識調査【全児童・生徒対象】  
(令和4年12月～令和5年1月実施)  
⇒拠点校の好事例を市立学校107校に普及し、児童・生徒の運動・スポーツへの関心を高めるとともに、運動習慣を定着させる取組を継続していく必要がある。
- ⇒市内の各小中一貫教育グループにおいて、運動・スポーツに親しむ活動や義務教育9年間を見通し系統立てた取組を推進する。

## 【実態・課題】

- ・「令和3年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果より、総合評価D・E層の児童の合計の割合が東京都の平均より高い。
- ・「運動をしない」「1日の運動時間が30分未満」と回答した児童の割合が東京都の平均を上回る学年が多い。
- ⇒児童・生徒の運動・スポーツへの興味・関心を高める取組の普及。
- ⇒児童・生徒の運動習慣を定着させる取組の普及。

## 目標

- ・1日合計30分以上、運動（運動遊び）やスポーツをする児童・生徒の割合の増加。
- ・運動ができるようになったことを実感したことがある児童・生徒の割合の増加。

## 【成果】

- ①拠点校において、1日合計30分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合がおよそ7割から8割となった。
  - ②拠点校において運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合が増加した。
  - ③拠点校において授業以外でも運動やスポーツをしたいと思う児童・生徒の割合が増加した。
- ※拠点校における児童・生徒の運動習慣及び意識調査【全児童・生徒対象】  
(令和4年12月～令和5年1月実施)

## 【取組】

- アスリート等との連携プログラム
  - ・陸上競技、バレーボール、ブラインドサッカーのオリンピック、パラリンピアンによる講演会と実技指導。
  - ・元プロ野球選手によるキャッチボール教室。
  - ・縄跳び世界チャンピオンによる実技指導。
  - ・プロダンサーによるリズムダンス授業。
- 多様な運動機会プログラム
  - ・異学年で運動遊びを行うアクティブタイム。
  - ・生活委員会による昼休み運動の推進。
- アクティビティ・レクリエーションプログラム
  - ・スポーツレクリエーション協会と連携したレクリエーション部（部活動）。
  - ・地域の方を講師として運動・スポーツを受講するふれあい講座、スポーツデー。

## 【取組（詳細）】

### ○ アスリート等との連携プログラム

陸上競技のオリンピックによる講演会と陸上教室を開催。「陸上競技から学んだこと」として、練習、物事の考え方、挫折や逆境に対してどう向かっていくか、などの話を児童は、実体験と照らし合わせながら聴いていた。その後校庭で、速く、かっこよく走るポイントを一緒に走りながら学んだ。

オリンピックによる講演会・陸上教室



元日本代表選手による講演会とバレーボール体験。実技指導では、ソフトボールを使用し、「怖い」や「痛い」というボールが当たる恐怖心を取り除き、どの児童も楽しんで活動に取り組むことができた。

元日本代表選手とバレーボール体験



アクティブタイム



### ○ 多様な運動機会プログラム

第6学年がボールなどを投げる、蹴る、短縄、長縄、竹馬、鉄棒、玉入れ、ダンス、芝生遊び、綱引き、オリパラスポーツ、スポーツライミングなどを企画し、縦割り班活動を行うアクティブタイム。活動日以外にも、自分たちで集まって楽しく運動をして遊ぶ児童が増えてきた。

### ○ アクティビティ・レクリエーションプログラム

特別支援学級に在籍する生徒が、八王子市スポーツレクリエーション協会の方や大学生のボランティアの方と一緒に様々なレクリエーション活動を行うスポーツレクリエーション部。パラスポーツ（シッティングバレーやボッチャなど）も体験し、運動する楽しさや協力して一つのことを成し遂げる喜びを味わうことができている。

レクリエーション部



ふれあい講座



拠点校5校の取組を報告書にまとめ、市立学校共有ドライブにて成果を報告する。市内の教員がいつでも各校の取組を参考にできるようにする。

地域の方を講師として12講座を開設し、生徒の希望により受講講座を決定するふれあい講座を年に2回実施。運動系の講座として、ダブルダッチ、ネオテニス、剣道、卓球、サッカーを開設し、生徒からは「地域の方や仲間と楽しく体を動かせた」、地域の方からは「生徒から元気をもらった」等の感想があった。